

3. 用語解説

【一般科目／専門科目】

一般科目とは、各学科に共通する国語、社会、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、情報処理等の基礎的内容を教授する科目。

専門科目とは、学科ごとの専門的分野を深く追求することを目的とした科目。

【インターンシップ】

学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。

【SD（スタッフ・ディベロップメント）】

大学等の管理運営組織が、目的・目標の達成に向けて十分機能するよう、管理運営や教育・研究支援に関わる事務職員・技術職員又はその支援組織の資質向上のために実施される研修などの取組の総称。

【FD（ファカルティ・ディベロップメント）】

教員が授業内容・方法を改善し、教育力を向上させるための組織的な取組の総称。その意味するところは極めて広範にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。高等専門学校設置基準等の改正により、FD活動の実施が義務化されている。

【オフィスアワー】

授業科目等に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す授業時間以外の特定の時間帯（例：火曜日の15時から17時まで）。

【外部評価／第三者評価】

外部評価とは、学校の教育活動等について、学校側が選定する学校外者から評価を受けること。一方、第三者評価は、第三者的立場にある評価機関等が実施する評価である。

【科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）】

学術を振興し、独創的・先駆的な研究を発展させることを目的として人文・社会科学から自然科学に至るあらゆる分野の学術研究活動を対象に助成される仕組み。通称、「科研費」と呼ばれる。我が国最大規模の競争的研究資金制度である。独立行政法人日本学術振興会における基金（学術研究助成基金）及び国の補助金（科学研究費補助金）により助成される。公募制となっており、各研究者が提出する研究計画書に基づき、ピア・レビューによる審査が行われる。

【学修単位】

高等専門学校設置基準第17条第4項の規定について、独立行政法人国立高等専門学校機構が付した名称で、卒業要件の内、60単位を超えない範囲について、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し、1単位の授業科目を45時間の学修とするもの。

【学生会】

全学生で構成される学生自治団体。学校の指導のもとに学生の自主的な活動をとおして、人間形成を助長し、学生生活を楽しく、規律正しいものにし、健全なる心身をつくり、自治能力を養うことを主な目的とする。中学校や高等学校における生徒会と同様の組織。

【共同研究制度】

大学等が企業・学校外機関等から研究者及び研究経費を受け入れて、教員が企業・学校外機関等の研究者や技術者と共通の課題について共同して行う研究制度。通常、共同研究期間中、当該校の実験機器・装置を利用することができる。

【コーオペ教育（COOP教育）】

教室での学習と、学生の学問上・職業上の目標に関係のある分野での有意義な就業経験（インターンシップ）を通じた学習を融合する、組織化された教育戦略。

【CALL】

コンピュータ支援言語学習のこと。オーディオ、ビデオ、コンピュータなどの機器を使って外国語を学ぶシステムに、PCネットワークを利用して外国語を学ぶシステムを組合せた学習方法が可能。CALLは、Computer-Assisted Language Learning の略。

【国公立大学等を通じた大学教育改革の支援（教育GP／特色GP／現代GP など）】

国公立大学等を通じた競争的環境の下で、特色・個性ある優れた取組を公募により選定し、支援を行う文部科学省の事業。この事業には、質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）、特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）、現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）等が挙げられる。

【GPA制度】

授業科目ごとの成績評価に対して、GP（グレードポイント）を付し（例えば、5段階（A、B、C、D、E）の成績評価に対して、それぞれ4、3、2、1、0のGPを付す。）、この単位当たりの平均を出し、その一定水準を卒業などの要件とする制度。GPAは、Grade Point Average の略。

【JABEE（日本技術者教育認定機構）】

技術系学協会と密接に連携しながら、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかの審査・認定を行う非政府団体。

【主事】

高等専門学校等において、校長の命を受け、専門的業務を掌理する職。通常、教務主事、学生主事、寮務主事が置かれ、それぞれ教育計画の立案その他教務に関すること、学生の厚生補導に関すること、寄宿舎における学生の厚生補導に関することを掌理する。

【受託研究制度】

民間企業や国の機関又は地方公共団体等の機関から委託を受けて教員が行う研究で、これに要する経費を委託者が負担する制度。

【チューター制度】

主として、外国人留学生に対し、日本人学生が日本語の指導、学習や生活上の様々な支援を行う制度。

【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

各大学・学部及び各高等専門学校・学科などが入学志願者や社会に対し、その教育理念や特色などを踏まえ、教育活動の特徴や求める学生像、入学者の選抜方法などの方針をまとめたもの。入学者選抜や入試問題の出題内容にはこの方針が反映されることとなっている。

【PBL】

実社会で役に立つプロジェクト課題を学生にグループ単位で与え、その課題を達成するためのアイデアの創出、計画立案、実現等を学生自身に遂行させることにより、学生の学習意欲、知識の活用能力、計画立案・遂行能力、ディベート能力、プレゼンテーション能力、組織運営能力等の向上を図るための学習・教育の方法。Problem - based Learning 又は Project - based Learning の略。

【ファイアウォール】

組織内部のローカルなネットワーク (Intranet) と、その外部に広がる Internet との間に、外部からの不正なアクセスを防ぐ目的で設置されるルータやホスト、又はその機能的役割のこと。名前の由来は、火の手を防いで延焼を食い止める「防火壁 (firewall)」に因んでいる。

【フィールド型授業】

学生の学修効果を高めるために教室や実験室外で行われる実践的な授業。野外における調査など。

【ブックハンティング】

学生が書店等に行き、図書館に置きたい書籍等を直接購入する取組。

【『モデルコアカリキュラム (試案)』】

国立高等専門学校全ての学生に到達させることを目標とする最低限の能力水準・修得内容である「コア (ミニマムスタンダード)」と、高専教育のより一層の高度化を図るための指針となる「モデル」とを、国立高等専門学校機構が提示したもの。学校が編成・実施する具体的な教育課程 (狭義のカリキュラム) を示すものではなく、教育課程編成の指針として学生に身に付けさせるべき到達目標 (アウトカムズ) を提示している。

【ルーブリック】

米国で開発された学修評価の基準の作成方法であり、評価水準である「尺度」と、尺度を満たした場合の「特徴の記述 (能力)」で構成される。記述により達成水準等が明確化されることにより、ほかの手段では困難な、パフォーマンス等の定性的な評価に向くとされ、評価者・被評価者の認識の共有、複数の評価者による評価の標準化等のメリットがあるとされている。